



しいば 議会だより

第88号

平成29年11月

発行 宮崎県椎葉村議会
編集 議会だより編集委員会
〒883-1601
宮崎県東臼杵郡椎葉村大字
下福良1762番地1
TEL (0982) 67-3209
村内無料電話 7-67-0091



(全国和牛能力共進会:仙台市)

9月定例会(2~3)
一般質問(4~5)

議員活動報告(6~7)
議会の動き(8)

平成29年9月定例会

9月11日から20日まで9月定例会が開催され、平成29年度の一般会計及び特別会計の補正予算を含む、報告3件、同意1件、議案18件、議員発議2件の議案が提出され、いずれも原案どおり可決されました。一般質問は3名が行いました。

9月定例会で決まったこと

議案番号	議案名	審査結果
報告第5号	平成28年度椎葉村財政健全化判断比率の報告	(報告)
報告第6号	平成28年度椎葉村公営企業会計における資金不足比率の報告	(報告)
報告第7号	平成28年度一般会計継続費の精算報告	(報告)
同意12号	椎葉村教育委員会委員の任命	同意(全員一致)
議案第51号	平成28年度椎葉村一般会計歳入歳出決算認定	認定(全員一致)
議案第52号	平成28年度椎葉村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定(全員一致)
議案第53号	平成28年度椎葉村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定(全員一致)
議案第54号	平成28年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計歳入歳出決算認定	認定(全員一致)
議案第55号	平成28年度椎葉村電気事業特別会計歳入歳出決算認定	認定(全員一致)
議案第56号	平成28年度椎葉村介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定(全員一致)
議案第57号	平成28年度椎葉村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定(全員一致)
議案第58号	平成28年度椎葉村ケーブルネットワーク事業特別会計歳入歳出決算認定	認定(全員一致)
議案第59号	平成29年度椎葉村一般会計補正予算(第3号)	可決(全員一致)
議案第60号	平成29年度椎葉村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
議案第61号	平成29年度椎葉村簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
議案第62号	平成29年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
議案第63号	平成29年度椎葉村介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
議案第64号	平成29年度椎葉村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
議案第65号	平成29年度椎葉村ケーブルネットワーク事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
議案第66号	椎葉村使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第67号	工事請負契約の締結について(平成29年度(平成28年度繰越)仲塔小学校跡地利用工事)	可決(全員一致)
議案第68号	平成29年度椎葉村一般会計補正予算(第4号)	可決(全員一致)
発議第2号	森林環境税の早期創設を求める意見書について	可決(全員一致)
発議第3号	椎葉村の地域医療を守る調査検討特別委員会の設置について	可決(全員一致)

平成29年度補正予算の内容

会計名	補正額(千円)	補正後の予算額(千円)
一 般 会 計	1 4 5, 4 5 0	4, 9 3 1, 2 6 2
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	△ 3, 6 2 7	5 0 4, 8 0 7
簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計	3 4, 6 0 0	9 0, 6 4 9
国民健康保険病院事業特別会計	0	5 6 6, 6 6 4
電 気 事 業 特 別 会 計	なし	1 3 5, 7 9 0
介 護 保 険 事 業 特 別 会 計	1 2, 7 5 1	4 0 7, 6 3 5
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	△ 5, 1 4 9	8 9, 0 8 6
ケーブルネットワーク事業特別会計	△ 8, 9 4 0	6 7, 2 2 6

【歳出の主なもの】

- 椎葉日向間快速型ミニバス運行委託…………… 5 7 万 5 千円
- 椎茸原木補助 …………… 1, 4 5 7 万円
- 松尾地区体育館修繕 …………… 4 5 0 万円
- 農地災害復旧事業 …………… 4 6 0 万円
- 公共土木施設災害復旧事業…………… 8, 7 6 7 万 4 千円
- その他の災害復旧関連事業…………… 3 9 8 万 6 千円

【決算認定】

- 平成28年度の一般会計から7つの特別会計すべての決算を認定した。(詳細は11月の広報紙に掲載)

【人事案件】

- 教育委員に椎葉廣美氏が任命
荒竹トシ子委員が平成29年10月16日で任期満了により退任され、後任の椎葉廣美氏(若宮地区: 61歳)の任命に同意しました。任期は平成29年10月17日～平成33年10月16日までの4年間です。



椎葉廣美氏

【条例改正】

- 椎葉村使用料及び手数料徴収条例の一部改正
村有土地使用料が300円/㎡から400円/㎡に改正されました。村有建物については基準がなかったため、固定資産評価額に100分の7を乗じた額となります。いずれも1年間の使用料です。

【請願・意見書】

- 森林環境税の早期創設を求める意見書
森林の整備と保全が継続的に取り組めるように、安定した財源確保に向けた「森林環境税」の早期創設を求める意見書を可決し、関係大臣等に意見書を送付しました。

村長に聞く! ～ 一般質問 ～



河口吉弘 議員

質問
1

旅館・民宿、小売業の経営支援とガソリンスタンド改修支援について

問1

3月議会において質問した、旅館・民宿、小売業の経営支援や個人経営ガソリンスタンド改修費用の一部助成制度の創設について、村長は「小売業やガソリンスタンドの存続は、持続可能な地域づくりに必要不可欠、補助金の支援のみならず、経営者の思いに寄り添うことが重要」と答弁、その後どのような支援策の検討が行われているのか。

答1

持続可能な経営支援はきわめて重要、商工会と連携を図りつつ、現状把握と支援策の検討を進めている。新年度予算に反映できるように検討を進める。

問2

スタンドの改修支援や旅館・民宿の振興は重要な政策課題。平家祭りやひえつき節日本一大会などのイベントをとおして、村を活性化していくことは非常に大事なこと。その受け皿としての旅館・民宿等の役割は重要であり観光振興と車の両輪である。どのように政策展開を図っていくのか。

答2

既に多くの事業者が補助事業を活用し、新商品の新たな開発や店舗改装等に取り組まれている。また、相談等も頂いている。新たな補助制度の創設を図りたい。

問3

村長は、家庭が一つの企業、村の諸制度を活用して所得向上と生活の安定に努めてほしいと話しているが、旅館・民宿、小売業に対してもしっかり支援していくべきではないか。

答3

本村の一次産業に対する補助制度は充実している。他の産業についても制度の充実を図りつつ、積極的に支援する。

質問
2

景観づくりの推進について

問1

景観づくりに支障を及ぼしている空き家等について、「景観をそこなうものや危険な建築物について、対象建築物の抽出や所有者の意向調査を進め、実行性のある対応を検討する」ということであったが、どのような取り組みがされているのか。

答1

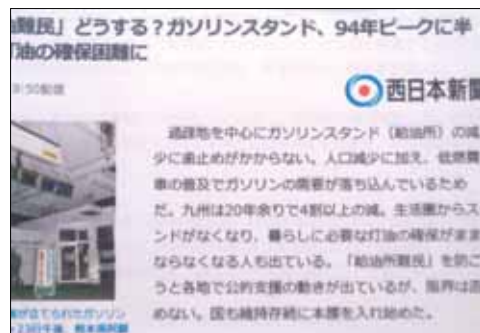
庁内関係課による協議をすすめるなど、年度内の条例制定を目指すために、現在準備を行っている。

問2

十根川伝建集落入口の家屋について、個人財産ということで難しいことでもあると思うが、平成17年台風により被災した建物を村費を投じて撤去した例もあるがどうにもならないものか。

答2

個人財産であるため、慎重に進めるべきと判断している。審査会設置や本村独自の条例整備を年度内に提案したい。



(西日本新聞抜粋)

【特別委員会の設置】

○椎葉村の地域医療を守る調査検討特別委員会

地域医療を守るための特別委員会を設置し、本村の現状を把握し、住民の意見を聞きながら本村唯一の国保病院を守るための調査研究を行います。今後は住民対話や地域医療を守る条例制定に向けての活動を行っていきます。

本委員会設置前の9月9日には、延岡市役所で「地域医療講演会」が開催され、本村出身で厚生労働省大臣官房審議官の椎葉茂樹氏による講演会に全員で参加した。

委員：議長を除く9名

委員長に椎葉大和議員、副委員長に椎葉信紘議員が選任されました。





椎葉信紘 議員

質問 1

薬草の里づくりについて

問1 村の活性化を進める1つの方策として、将来を見据えた「村民の健康促進のための薬草活用」に取り組んだらどうかと考える。

村内全域を見渡すと椎葉ならではの厳しい自然風土の中で、天然薬草として自生している数は実に20種類にも及んでおり、まさに天然薬草の宝庫である。

その意味で天然薬草木や林間での薬草栽培を生かしての医薬品の原料生薬の産地化、薬膳料理等の食文化の取り組み等々恵まれた本村の風土、環境にあった産業の経済基盤づくりが重要であると考えます。

一方で、医薬品の産地化を図る上で基準等もあり、当面は村内に自生する天然薬草や林間での薬草栽培を推奨しながら、たとえば薬草観察会、薬草勉強会といった薬草キャラバンを確立して意識・啓蒙を高めて、一般家庭はもちろん民宿や旅館等ともタイアップをしての薬膳料理の普及にもつなげることであります。

将来的には医薬品の原料生薬供給基地としての産地化を図って、先に薬草事業に取り組んでいる日向市

との連携も視野に入れての生産基盤づくりに努めることが考えられる。

地場産業の振興を図るためには既存の産業資源をどのように捉えるかが問われなければならない、そのためには、調査研究を重ねて付加価値をつけての本村の産業発展につながる事が大事である。

発想の転換を図って将来に向けての第一歩を踏み出すべきではないかと感じるが提言を申し上げて村長の見解をおたずねしたい。

答2 薬草を活用した産業は、長期的な視野に立った取り組みが必要不可欠。県内を中心とした、薬草栽培の現状については、当面、情報収集を行い可能性について検証をする。



センブリ



那須重美 議員

質問 1

村行分収造林の現状について

問1 現在分収造林契約地において、契約超過林分が数件あるようにみられる。この契約超過林分において、土地所有者との協議がなされていないのが現状のようである。土地所有者としては、早く処分してほしいとの声が聞かれる先の質問の際に早々に計画を立て、調査して協議するとの答弁であったがその後行われたか疑問である。この分収契約地の取り扱いについて村長の見解を求める。

よる契約変更等の協議も必要となる。契約終了林分は優先的に協議を進めるべきと考えるが見解を求める。

答1 契約満了の村行造林地は、計画的に進んでいないのが現状。早急に解決しなければならない事案である。契約者と協議しながら順番に解決していく。

問2 契約終了林分については、まず現地の把握、現地調査、そして協議することが最優先だと考える。契約書に明記している件について存続期間等の協議が必要不可欠だと考える。また世代交代に

答2 所有者の世代交代や境界の確認等にも時間を要する。契約順に所有者と協議しながら毎木調査と並行して実施する。

問3 契約者が高齢となり、生存しているうちに収穫してほしいとの声が聞こえる。契約者の意向に答えるべく収穫事務を進めるべきと考えるが見解を求める。

答3 契約者と協議を行い、収穫に向けた毎木調査を行っていく。



議員活動報告

地域づくり懇談会 7月13日～21日

行政主催で開催している「地域づくり懇談会」に本年度から議員全員で参加し、村民の意見を伺った。行政に対する活発な意見や質問が数多く出された。

今後私たち議会としても、出された意見をしっかり受けとめ議会活動に取り組まなければならないことを再確認した。

報告者：副議長 岡村正司



郡町村議会議員研修 7月27日・28日

東白杵郡町村議会議員研修が日向市で開催され、議員、事務局職員ら約50名が参加した。「地域の将来と議会の役割」と題して、(株)高千穂ムラたび代表の飯干淳志氏による講演が行われ、最近の移住者増加による、地域の関わり方、移住者との協力体制づくりなど、議員としての役割の重要性を話された。

研修に先立っては、諸塚村の「子ども議会」に参加、小中学生の提案や意見発表を傍聴した。諸塚村では、過去に子どもの意見を具体的に政策化するなどした事例もあり、子どもならではのすばらしい発想を聞くことができた。

翌日は、日向東白杵広域連合の清掃センターと美郷町新庁舎の見学を行った。

報告者：総務文教常任委員長 那須重美



地域おこし協力隊・集落支援員との意見交換会 8月2日

昨年に引き続き、地域おこし協力隊と集落支援の皆さんとの意見交換会を行った。

集落支援員は、松尾地区、梅尾地区、尾八重地区に配置されており、地域の支援や活性化に取り組んでいる。

現在8名の地域おこし協力隊は、地域おこしの支援や就農のための農業研修など、協力隊としての活動をおして本村への移住定着に真剣に取り組んでいる。

3年間の任期満了後には、本村への移住希望がかなえられるように議会としても行政と一緒に移住定住に向けた体制構築に取り組んでいきたい。

報告者：副議長 岡村正司



国への要望活動・政務調査 9月6日～8日

国土交通省、農林水産省、林野庁に対して要望書を提出し、意見交換を実施いたしました。また仙台市で開催された、全国和牛能力共進会と東日本大震災の復興状況を視察しました。

要望内容は次の通りです。

●国土交通省

1. 国道3路線(265号、327号、388号)の早期整備
2. 道路整備に必要な予算確保
3. 道路措置法の補助率高上げ措置の継続実施

●農林水産省・林野庁

1. 有害鳥獣被害対策にかかる予算の充実
2. 村が行う鳥獣被害防止策に対する財政支援
3. 有害捕獲従事者の育成・確保など、捕獲体制の充実
4. 森林整備事業予算の拡充
5. 作業道災害復旧事業の予算措置
6. 全国森林環境税の早期創設



報告者：産業福祉常任委員長 椎葉芳一

県町村議会議員大会 10月12日

県内の17町村で構成される、第58回宮崎県町村議会議員大会が綾町で開催された。

地方創生の更なる推進と分権社会に向けた決議案9件と道州制導入に反対する特別議決案3件を採択して終了した。

大会終了後の研修会では、「政治の展望と課題」と題して、テレビ朝日コメンテーターの川村晃司氏による講演が行われた。

報告者：議長 椎葉邦博



三村議会協議会交流会 10月20日

県内3つの村、諸塚村・西米良村・椎葉村で構成された、三村議会協議会の総会と研修会が開発センターで開催された。総会では、事業計画と予算が満場一致で可決され、三村の活性化のために活動を継続して積極的に取り組むことを確認した。

研修会では、本村の地域おこし協力隊で雑穀女子としてご活躍の早川智子氏が「ひえ・あわに魅せられて」と題して講演を行い、健康と食に興味を持ち本村に移住したことや今後の活動についての取り組みが紹介された。また、川の口で栽培されている雑穀の現地視察を行った。早川さんをはじめ、本村協力隊の今後の活躍に期待したい。



報告者：総務文教常任副委員長 椎葉藤香

議会の動き

8月	2日	地域おこし協力隊・集落支援員との意見交換会	役場会議室
		入郷地域開発期成同盟会要望活動	県庁
	10日	正副議長研修	宮崎市
		地方行政問題協議会研修	宮崎市
	11日	椎葉夏まつり花火大会	椎葉中学校
	17日	九州中央自動車道建設促進地方大会	熊本市
	18日	日向市・東臼杵郡町村議長連絡会要望活動	延岡市・日向市
	23日	日向市・東臼杵郡町村議長連絡会要望活動	県庁
		県町村監査委員協議会総会	都農町
	24日	国道388号整備促進期成同盟会要望活動	日向市・宮崎市
	26日	竹灯籠まつり	開発センター
	28日	例月出納検査(～29日)	監査室
	29日	国道265号改良整備促進期成同盟会総会	宮崎市
	31日	第9回全員協議会	委員会室
		第2回総務文教常任委員会	
		第7回議会運営委員会	
9月	4日	監査講評	役場会議室
	5日	交通安全合同会議	役場会議室
	6日～8日	国への要望活動及び政務調査	東京都・仙台市
	9日	ひえつき節日本一大会(～10日)	開発センター
		地域医療後援会	延岡市
	11日	第10回全員協議会	委員会室
		9月定例会(～20日)	議場
	16日	高齢者福祉まつり	村体育館
		第8回議会運営委員会	委員会室
		第11回全員協議会	
	19日	第3回総務文教常任委員会	
		第3回産業福祉常任委員会	
		椎葉中学校体育大会(議会開催により欠席)	
	20日	第1回椎葉焼き畑研究会	開発センター
	22日	西米良村議会・上球磨正副議長会との交流会	湯前町
		秋の全国交通安全運動街頭キャンペーン	六弥太
	25日	例月出納検査(～26日)	監査室

10月	3日	椎葉日向間快速型ミニバス出発式	役場玄関
	4日	椎葉村林政審議会	役場会議室
	8日	村民体育大会	村運動公園
	12日	県町村議長会臨時総会及び議員大会	綾町
		世界農業遺産椎葉村シンポジウム	開発センター
	6日	定期監査(11月15日まで)	監査室
	18日	総務文教常任委員会所管事務調査	椎葉中学校ほか
	20日	三村議会協議会(西米良村、諸塚村)	椎葉村
	21日	女性のつどい	開発センター
	23日	日向東臼杵広域連合議会運営委員会	日向市
		例月監査(～25日)	監査室
	24日	国道327号外日向圏域4路線整備促進現地踏査	入郷管内
		知事とのふれあいフォーラム	役場会議室
	25日	国道388号整備促進姿勢同盟会要望活動	福岡市
	26日	戦没者追悼式	開発センター
	27日	国道327号外日向圏域4路線整備促進期成同盟会要望活動	県庁
	31日	建築業協会日向支部要望来庁	村長室
		全国町村監査委員研修(～11月2日)	東京都

椎葉村議会 テレビ生中継

お茶の間で議会の様子がご覧いただけます。
放送は11チャンネルです。
12月定例会は、12月7・8日開会の予定です。

編集後記

今年も残すところを1ヶ月となりました。

9月に国に対して、国道の改良、有害鳥獣対策、木材産業振興対策についての要望と意見交換を行いました。予算等の厳しい現状ですが、これからも議員一同要望活動を行い、力を尽くしていく所存でありますので、皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

椎葉藤香